

とちぎ夢大地応援団(11月16日)実施報告

～小貫焼森地区放牧場跡地桜の木追肥作業～

小貫焼森の里づくり協議会は20年間余使用されていなかった競走馬の放牧場跡地を有効利用しようと、2006年頃から桜の木を植え環境改善を図っています。

昨年度は約 60 余名の方々に雑木や篠竹の伐採作業を行いました、今年は200本余の桜の木への追肥作業を行いました。

当日は朝から冷たい雨が降り続き作業としては大変な条件でしたが、森林ボランティアの方や宇都宮大学の学生諸君、そして NPO 法人「ナルク」の方々等応援団員 34 名、地元協議会会員 30 名、事務局8名 総計 72 名の参加を得て、作業が行われました。作業地区の半分は比較的石が少なく溝堀り作業もやり易かったですが、後の半分は石が多くかつ堅い土質のため皆様ご苦勞さまでした。

堆肥は茂木町特産の「美土里堆肥」をたっぷり埋め込みました。当日は地域通貨の試験的使用も行われ、昼食は地域の農産物販売交流施設(いい里さかがわ館)で交流会を兼ねて行われました。

雨中での開会式



地元の方のデモンストレーション



美土里堆肥です



宇都宮大学の皆さん



雨も上がって紅葉も見頃に



地域通貨の配布



けんちゃんそばと交換です



参加者の皆様ご苦勞様でした・来春は花見に来よう

